



とらいあんぐる



2017 年 1 ・ 2 月

一音会ミュージックスクール発行

「空」

寒い季節になりました。

身を切るような、冷たい空気にふれると、やはり思い出してしまうことがあります。

母がいなくなった日も、こんな空気でした。

そしてあの日の空を思い出すのです。

こんなふうに空気が冷たくて澄んでいて、空は抜けるように青くて、からっぽだった、と。

あの日から、5 年が経とうとしています。

一步一步、前を向いて、進んできた

つもりでいても、この季節の空気にさらされると、一瞬にして、絶望したあの日に戻っています。

何も変わりません。

ああ、またあの空気だ、またあの空だ、と思うのです。

もはやここが、私の“原点”なのかもしれません。

これから何年何十年、時間が経っても、この季節に、私はここに引き戻されてしまうのでしょう。

5 年前、母は風邪をひいて、入院しました。ただの風邪でした。

それ以前に、母は大きな病気を 40 年間、抱え続け、病気については“べ

テラン”でした。ふつうの人が一生、耳にすることがないような病名や症状も、たくさん経験してきました。

風邪という、まるで“初心者”のような病名をきいて、私は安心していました。入院さえも、おおげさに感じたほどです。

日ごろ、自分のことを「丈夫な病人」と呼んでいた母も、すぐに退院するつもりでいました。

私は、むしろここで入院して身体を休めておくのも良いだろう、くらいに思っていました。年度末に向け、母には、やるべき仕事が多山積みだったので。

入院時には、いろいろな検査をおこないません。



ところが、その検査結果を知らされる時、私ははじめて「とんでもない思い違いをしていたかもしれない」という心境にさせられるのです。

血液検査をはじめとする検査結果をにらんで、お医者様は長い長い時間、考えておられました。その表情は、家族に何を伝えるべきか、悩んでいる医者表情です。

お医者様は、とうとう重い口を開きます。

思い出せるかぎり、お医者様の言葉をそのまま、ここに再現してみます。

この数値は一時的なものではありません。40年かけて進行した病からくる状態と理解しています。ひどいというレベルではありません。見たことがないような数値なのです。私も長く医者をしていますから、重篤な患者さんも、たくさん診てきました。でも、違うのです。数値にして、1ケタも2ケタも違う、そんなレベルです。「この数値で生きていられる人がいるのか?」、失礼ながら、私の一番の衝撃は、それです。

この数値は、一時的なものでない、徐々にこうなった、と考えるしかないのです。なぜなら、この数値で人間が生きていることは、ありえないからです。あなたのお母様は、徐々に徐々に悪化する中で、身体を順応させていったのでしょうか。いきなりこの数値になったら、間違いなく人は死にます。

他にも、驚くことばかりです。特に3つの点で、非常に驚いています。

まず、あなたのお母様ほどの病の重さで、あなたのお母様の年齢まで生きた方を、私はこれまで一人も知りません。失礼ながら、みなさん、お若くして亡くなる、そういう激烈な病なのです。お母様のような重篤な方であったら、発症5年以内に、命を失うのが普通です。

2つめには、ずっとおうちにいらしたということ。あなたのお母様より若くて、病状がずっと軽い方でも、この病気の方はかならず入院します。そして、病院から出ることはできません。絶対にできません。無理なのです。繰り返しになりますが、そういう病なの

です。

3つめには、お仕事をなさっていたということ。これは・・・申し訳ありません・・・今も私は正直申し上げて、信じることができていません。それは本当のことなのでしょうか？

この病気は、痛みをやわらげるために、強い薬を使います。そのため、通常は起き上がることができません。寝たきりです。お母様は、痛み止めを使わずに過ごされたとのこと。その状態で、起き上がるばかりか、お仕事をされた・・・そんなことが果たして可能なのか・・・分かりません。考えられないことです。その尋常でない精神力が、どこからうまれてくるのか・・・私はこの事実を受けとめかねています。

とつとつと語られたお医者様の言葉に、私は打ちのめされていました。

しかしそのショックは、知らなかったことを知らされたショックではなく、一番考えたくない事実をつきつけられたショックでした。

私は知っていたじゃないか。母が苦しい日々を過ごしてきたことを。

できるだけ気がつかないフリをし、母は元気なんだと、自分にいいきかせてきたじゃないか。

母は元気だったわけではなく、元気なフリをしていたのだ、という事実をつきつけられて、私は途方にくれていました。

母にとって、この40年、つらくない日は1日としてなかったのです。ずっと一人で耐えていたのだと思います。

発病した時に知り合った同病のお友達はみな、遠い昔に亡くなっていました。

たった一人、ずっと崖っぷちに立っていたのでしょ。

母が立っていたところがあまりにも断崖絶壁であったため、少しの風が吹いただけで、転落してしまったのでしょ。

もちろんそう考えたからといって、あきらめられるものではありません。

しかし、40年以上もの間、ずっと痛みを耐えながら、ふみとどまった苦しみを想像すると、「よくそこにとどまってくれた・・・」と思うのです。

その時、私の心にわいてくる感情は、感謝でも悲しみでも悔しさでもありません。ましてや、母が解放されたという安堵でもないのです。

このことになると、私は何も考えられなくなり、動けなくなり、どういう感情を抱いたら良いのかさえも分からなくなります。

ただそこに立ちつくすしかありません。

今日も、からっぽな空を見上げています。

何もないからっぽな真冬の空は、5年前の、そして今の、私の心そのものです。
(江口 彩子)



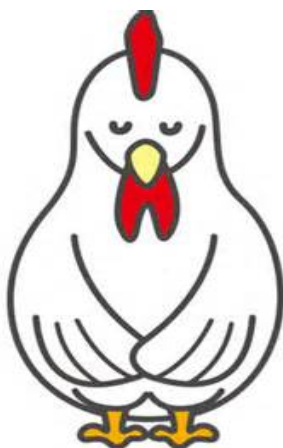
◆今年もよろしくお願いたします

2017年がスタートしました。

生徒さんも、ご家族の皆さまも、お気持ちを新たに、1年のスタートを切っていることと思います。

生徒さんやご家族の皆さまにとって、今年が素晴らしい1年になりますように、また、微力ながら私どももそのお手伝いができますようにと、願っております。

今年も、生徒さんにさらに上手になっていただくため、全力で指導にあたらせていただきます。ご家族の皆さまには、多くのご協力をお願いすることになるかと思いますが、どうかよろしくお願いたします。



◆「ピアノ・トライ」がはじまります

今年最初のイベントである「ピアノ・トライ」が、1月21日より、スタートします。

1年のはじめのお忙しい時期にあたるにもかかわらず、たくさんの方にお申し込みいただくことができました。心から感謝しています。

おかげさまで、すべての日程で満員となりました。ただし、日によっては、最後の部の最後の出演として、お組みすることができます。また、お申し込み後のご変更で、空きが出た時間帯も、少しだけございます。うっかり申し込みそびれてしまった方は、お気軽に、本部までご相談ください。〔03-5966-7711：担当・矢島、伊藤〕

また、この時期は、風邪をひきやすい季節でもあり、体調をくずしてしまう生徒さんが出てくるのが予想されます。当日、体調が悪い場合には、後の日程に振り替えることができますので、どうぞ無理をなさらず、ご相談ください。

今年度の「ピアノ・トライ」は、下記のとおりです。お時間につきましては、お申し込みくださった方に、個別にご案内しています。

- | | | |
|---|-----------------|---------------|
| ① | 1月21日(土 1・3) | 初級・中級(山本先生予定) |
| ② | 1月22日(日②) | 初級・中級(夏目先生予定) |
| ③ | 1月28日(土 2・4) | 初級・中級(山本先生予定) |
| ④ | 1月29日(日) レッスンなし | 初級～(能勢先生予定) |
| ⑤ | 2月5日(日) レッスンなし | 中級～(夏目先生予定) |

「ル・コンセール」は、下記のとおりです。

1回目：2月5日(日) 講師演奏 竹本 侘愛先生

2回目：2月12日(日) 講師演奏 谷口 秀樹先生・松山 優香先生

(2台ピアノ)

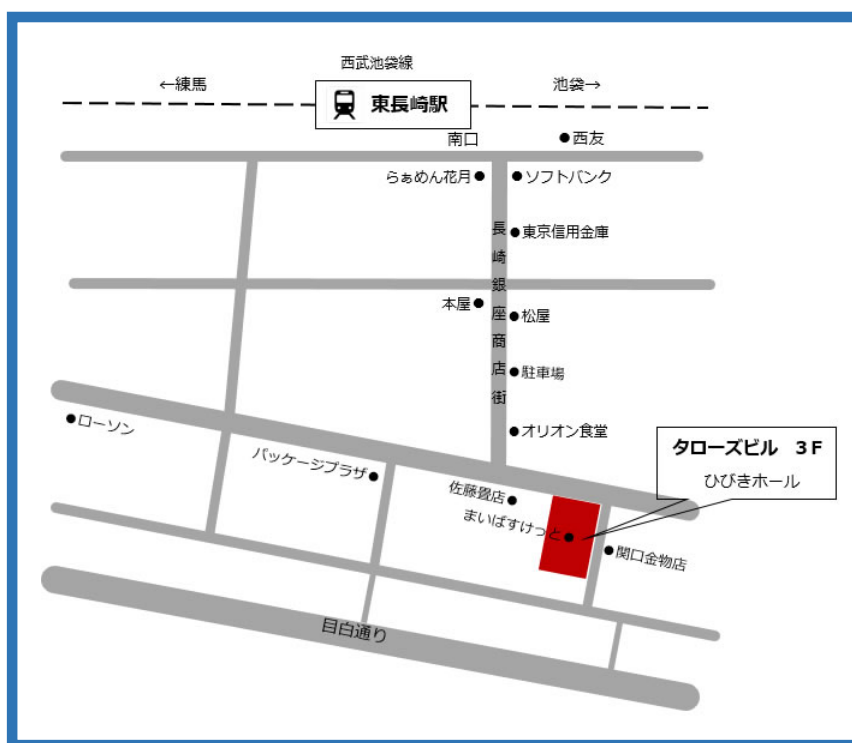
「ル・コンセール」は、ご出演の生徒さんやご家族以外の方でも、ご入場いただけます。多くの方にご入場いただけますよう、願っています。



◆「フォルテの会」を開きます

1月29日（日）に、「フォルテの会」を開きます。「フォルテの会」は、ヴァイオリン、フルート、作曲、声楽などの副科と、「うたくらぶ」（合唱）の生徒さんたちの発表会です。

場所は「ひびきホール」、12：30開場・13：00開演です。入場無料ですので、お気軽に足をお運びください。特に、副科に興味をお持ちの生徒さん、ご家族の方には、ぜひお越しいただきたいと思っています。



ひびきホール：西部池袋線「東長崎」駅北口より徒歩7分 タローズビル3F

◆新年度のレッスン希望表をご提出ください

「今年のあゆみ」とともに、「2017年度変更希望表」、「月謝表」を、お配りしています（お月謝は今年度と変わりません）。

万が一、お手元にとどいていない場合は、「ショパンはうす」もしくは本部にご連絡

ください。

「変更希望表」は、来年度の、レッスン科目、曜日、時間のご希望をおうかがいするものです。たいへんお手数ですが、全員の方にご提出いただきます。変更をご希望ではない場合にも、「変更なし」として、ご提出いただきたいと思います。

新年度からのスケジュールが、はっきりとは分からない場合には、仮の希望をいったんお出しください。スケジュールがはっきりし次第、後日、改めてお出しただければ大丈夫です。

なお、曜日や時間を変更する場合には、ほとんどの場合、担当が変わることをご理解ください。現在、その日時で受けていらっしゃる生徒さんが、最優先となるためです。もちろん、ご希望の日時の付近で、現担当の手をあげることができそうな場合には、できるかぎり担当を変えずにお組みするよう、努力いたします。

また、担当が変わる場合にも、個々の生徒さんに、一番適したスタッフがあたるよう、考慮いたしますので、ご安心ください。

ご希望は、担当の先生の目にふれることなく、本部で処理します。ご遠慮なく、率直なご希望をお書きください。

希望表は、2月12日（日）までに、添付の封筒に入れて、ショパンはうす受付にご提出ください。本部あてに郵便でお送りいただくこともできます。

本部住所：〒171-0051 豊島区长崎 3-19-1

◆アドヴァンスAコースの無料特別レッスン

先号でもご案内いたしました。この時期にかぎり、アドヴァンスAコースのレッスンを、どなたでも無料でお受けいただける制度をご用意しています。次年度からのレッスンをお考えいただくにあたり、参考にいただければ幸いです。

すべての生徒さんが対象です。未就学の生徒さんも、すでにアドヴァンスAコースのレッスンをお受けになっている生徒さんも、1回に限り、無料で30分レッスンをお受けいただけます(すでにAコースでお受けになっている生徒さんは、別の担当スタッフを指名できます)。

くわしくは、別紙をごらんください。またよくご質問いただく点については、先号(315号)でもご紹介しています。

◆客員教授ダイアン・アンデルセン先生のスケジュール

3月に客員教授のダイアン・アンデルセン先生が来日されます。プライベートレッスンとコンサートを予定しています。

日程は、以下のとおりです。コンサートの場所は、「ひびきホール」です。コンサートの時間やプログラムにつきましては、追ってお知らせいたします。コンサートの日は、ぜひご予約をあけておいてください。

レッスン : 3月17日(金)・18日(土)
コンサート : 3月20日(祝)



Diane Andersen

ブリュッセル王立音楽院名誉教授。

世界の主要コンクールの審査員をつとめる他、世界中で演奏活動をおこなう。

シュテファン・アシュケナージ(リスト門下のエミール・ザウアーに師事)と同じ、オーストリア=ハンガリー・ピアノ楽派の流れを汲むピアニスト。

これまでに、“フーガ”・トロフィー(ベルギー作曲家連合)、ハリエット・コーエン・バッハ・メダル(ロンドン)、グランプリ・ディスク・アカデミー・シャルル・クロス(パリ)、カンヌ・インターナショナル・クラシック・ミュージック・アワード in 2003 等を受賞。

ベラ・バルトークの友人で、ヴァイオリニストのアンドレ・ゲルトラーと数多くのコンサートを開き、バルトーク作品解釈のオーソリティと言われている。サバリッシュ指揮者であるスイス・ロマンド・オーケストラとのモーツァルト演奏、ブーレーズとのベルク作品、タンスマン自身とのピアノ・デュオ、またコダーイとその夫人のマドレーヌ・ミヨーら 20 世紀の著名な音楽家との親交も深い。

レッスン日程は、多くの方にとって受けやすい土曜日を含む日程にさせていただいています。お一人でも多くの生徒さんに、この貴重な機会を活用していただきたいと願っています。

客員教授の先生のレッスンは、大きな生徒さんや上級の生徒さんだけのものではありません。五線読譜が完了していれば、どなたでもお受けいただけます。未就学の生徒さんでも、大丈夫です。

アンデルセン先生は、英語、フランス語、ドイツ語をお話しになれます。日本語でのレッスンをご希望の場合は、玉井先生が通訳を担当します。

ご興味がおありの方は、担当の先生とも相談しながら、準備をすすめてください。ご質問、ご相談は、本部でお受けいたします。〔本部電話：03-5966-7711・担当：谷口〕

30分レッスン……レッスン料（12500円）＋通訳（2500円）→ 15,000円

45分レッスン……レッスン料（18750円）＋通訳（3750円）→ 22,500円

60分レッスン……レッスン料（25000円）＋通訳（5000円）→ 30,000円



スクールの生徒さんのご質問を、以下の2つの方法で受け付けています。

メール：1000@ichionkai.co.jp

電話：03-3954-9999

*お電話での質問時間は、毎週月曜日の午後7時～9時です。ただしレッスンがお休みの日は、質問もお休みとさせていただきます。

*ご質問は、お一人でも多くの方のご質問にお答えするために、お1人10分を目安とさせていただきます。ご了承ください。